

1: クリストファー・リックスによるボブ・ディラン鑑賞法指南

2:

3: by エヴァ・レジンスカ

4:

5: ボストン大学やオックスフォード大学で文学を教えているクリスト
6: ファー・リックス教授は、ミルトンやキーツ、エリオットの作品に対
7: するきめ細かな読み込みで定評がある他、ボブ・ディランの音楽を熱
8: 烈に愛していることでも有名である。ディランの歌詞を分析した『
9: Dylan's Visions Of Sin』（2003年）は後者が高じて出来た本だが、
10: 評論家の中には、リックスの手にかかると電話帳さえ詩的な作品であ
11: ると信じ込まされてしまうと、不満を漏らす者もいる。『Rigas
12: Laiks』の編集員であるエヴァ・レジンスカは、それを自分で確かめ
13: ようと思い立った。

14:

15: ●リックス先生の部屋にはどうしてバスタブがあるのですか？

16:

17: それはボブ・ディランが子供時代に使ってたバスタブです。幼いデ
18: ィランが初めてお湯をバシャバシャしたのがまさにこの中で、という
19: わけですよ。現在の所有者は2人のボストン大学卒業生です。彼らが
20: eBayでこれを見て、買おうかどうか迷っていたので、私が買うよう
21: に促したのです。

22:

23: ●私が本当に理解したいことのひとつが、私がボブ・ディランを好き
24: になれない理由なのです。

25:

26: この問題についてキミのかかりつけの精神分析医は何と言っている
27: のですか？

28:

29: ●そんな人はいません。つまり、私にはかかりつけの精神分析医なん
30: ていないのです。

31:

32: キミの言いたいことは分かっていますよ。多くの人が好み、高く評
33: 価しているのに、私にとっては何の意味もない芸術が、世界には大量
34: にあります。私は貴重な皿がたくさんある博物館に行ったことがあります
35: ますが、人生を変える皿に出会ったことはありません。自分にとって
36: 何らかの意味のあるブラックの絵も見たことはありません。でも、ピ
37: カソやドーミエは無視することが出来ないのです。あなたの質問は
38: “自分がレナード・コーエンは好きなのにボブ・ディランは好きでな
39: いのはどういうわけですか？”ということでしょうか？

40:

41: ●私はレナード・コーエンも好きではありません。少し退屈ですから。

42:

43: それなら、キミは正しい答えを知ってるじゃないですか。

44:

45: ●ディランの歌詞を読むと、好きになって当然なのだと思います。
46: 歌詞はいいと思います。でも、声を聞くと、まず、歌詞が全然聞き取
47: れません。私がいあまり好きになれない鼻音だらけなのです。これでも
48: 私は頑張ったのですよ。

49:

50: どうしてボブを好きになって当然と思ったのですか？

51:

52: ●先生ともあろうお方なら、賢人は皆同じように考えるものだとい
53: 古い格言を、何度も読んだことがおありでしょう。私は自分が偉大な
54: 頭脳の持ち主とは思いますが、ディランのような人物に敬意を抱き
55: 敬服すれば、歌詞を聞き取ることが出来て感動したり、そうすること
56: が出来ないのを残念に感じたりするようになると思うのです。

57:

58: ニューヨーク・レビュー・オブ・ブックスの友達募集欄で「ボブ・
59: ディランの解説者求。当方繊細で頭脳明晰な女性。適任者のもとには
60: 海を越えて馳せ参じます」というあなたの広告を見つけて、連絡を入
61: れて良かったと思います。しかし、真面目な話、私が考えていること
62: は、必ずしもあなたの役に立つとは限りません。きっと、“歌う”の意

63: 味を再定義する必要があるでしょうね。古い意味での“歌う”にはまり
64: 込む必要などないのです。お友達の多くはマーロン・ブランドは大役
65: 者だと思っているでしょうが、私の父や母はマーロン・ブランドは大
66: 根役者だと思っていました。両親はジョン・ギールグッドの活躍を見
67: て、「こっちに本物の役者がいる」と言っていたので、なおさらそう
68: 感じていたのです。彼等にとっては、それが“役者”の意味だったので
69: す。私もギールグッドの演技は素晴らしいと思いますが、ブランドは
70: 人が自分のことをどう考えているかなんてお構いなしで、“演技”の意
71: 味を再定義してしまいました。それが天才のひとつの印です。もう1
72: 度考えてみましょう。進んで考え直さないからといって、私はあなた
73: を責めはしませんけどね。

74:

75: ●その気があって私はここに来ているのですよ。

76:

77: ということは、考え直す気まんまんということなのですね。そうと
78: なれば、あなたの疑問に対するひとつの返答は、あなたはどんなポピ
79: ュラー・ミュージックでも好きになることが出来るのですか？という
80: ことです。あなたが「はい、コール・ポーターが好きです」と答えた
81: としましょう。

82:

83: ●ブルースでもいいですよ。

84:

85: いいですね。ブルースですか。それでは、ボブ・ディランのニュー
86: ・アルバムの評は読みましたか？ 出るのは火曜日なので、私はまだ
87: アルバムを聞いていません。いわゆるサンプル盤は聞きたいとは思
88: いませんでしたから。今日のボストン・グローブ紙には「ブルース・マ
89: ン到来」という見出しがあったので、きっとブルースを期待するこ
90: とが出来るとでしょう。それであなたの中の何かが開くかもしれません。
91: ディランの声を不愉快だと思ふ人もいれば、自分達の考える“歌う”と
92: いう行為をディランは行なっていないと感じている人もいることは、
93: 私も知っています。しかし、ワーズワースが昔から持っていた考えな

94: のですが、芸術家は人々が自分を良いと思ってくれるような鑑賞法を
95: 自分で作り出さなければならないのです。芸術家が行なっているのは、
96: 人々の様々な好みを理解し、自分の主義主張を捨てずにそれに順応す
97: ることです。でも、時々、自分の作品を人々に楽しんでもらうための
98: 鑑賞法を、自分で作り出さなければならない人もいるのです。ピカソ
99: はそうした人です。ブランドもそうです。ブランドは天才でしたが、
100: 彼を良いと思う感覚は相当変なものでした。あなたの国や文化が、他
101: の人でそういう体験をする前に、いきなりディランを体験したのかど
102: うかは、私は知りませんがね。

103:

104: ●はい。文化的にはいきなりディランだったと思います。

105:

106: それは運が悪いですね。自分が何人かは生まれてみないと分からな
107: いのと同じですね。もちろん、ディランは世界中で愛好されています。
108: が、私がここで言ってるのは、ディランを初めて聞いた体験は、その
109: 後のあらゆるものに影響を与えるということです。シャーロット・ブ
110: ロンテは第一印象に関する素晴らしい文を残しています。ジェイン・
111: オースティンもしかり。私達は第一印象に価値を置き、それを信頼す
112: る必要があります。でも、信頼し過ぎる必要はありません。私は、デ
113: イランが最初にして最大の恋愛詩人であるということから恩恵を受け
114: ている人間です。同時に、その犠牲者でもあるんですけどね。マサチ
115: ユーセッツ州アマーフトで行なわれたあるパーティーで、主催者がア
116: ナウンスしました。これから明かりを消して歌を聞いてもらいます、
117: と。そうして私達は「Desolation Row」を聞きました。私はそのよ
118: うなものは聞いたことがありませんでした。「荒地」に恐ろしいくら
119: い似てるな、ポープの「ダンシアド」に恐ろしいくらい似てるな、と
120: は思いましたがね。この世の地獄を表現したとてつもないヴィジョン
121: であって、文明はこの曲のどんな部分に価値を見出すべきかも、いつ
122: それが判明するかも、どう評価していいのかも分かっていないの
123: です。

124:

125: ロビン・フッドのコスプレをしているアインシュタインが
126: トランクに詰めた思い出を持って
127: 友人である嫉妬深い坊さんと一緒に、1時間前にこの道を通り過ぎた
128: 彼は完璧に恐ろしい形相をしながらタバコをせびると、
129: 次に、下水管の臭いをクンクン嗅ぎ、
130: アルファベットを朗読しながら立ち去った。

131:

132: $e=mc^2$ (二乗) は正確にはアルファベットの朗読ではありません
133: が、なかなか気の利いた表現です。こんなくだりもあります：

134:

135: そして、エズラ・パウンドとT・S・エリオットがキャプテンの塔
136: で喧嘩をしていて
137: カリプソの歌手がそれを見て笑っている。

138:

139: これは極めて的を射た表現です。モダニズムはタイタニック号のよ
140: うなものです。恐ろしいほど金がかかっている、階段の下や甲板の下
141: で働く人がいてこそ存在が可能だったわけです。それって大きな不幸
142: です。

143:

144: ●モダニズムは大きな不幸だったとディランは思っているのですか？

145:

146: そうです。

147:

148: ●つまり、大災害を描写したものというわけですか？

149:

150: そうです。その通りです。私より賢い言い方ですね。この曲は大き
151: な不幸について歌ったものです。パウンドにとって、これこそ現代の
152: 世界の本質なのです。同じことが「荒地」にも当てはまります。エリ
153: オットの詩に登場する倒れる塔は、あらゆる場所に当てはまります。
154: 9月11日のようにです。モダンニズムは恐ろしいほど高級で素晴らし
155: く、ある種、不朽のものとして認識されていますが、それをカリプソ

156: のシンガーが笑っているのです。トルストイが考えていたように、学
157: 習と素養と高級文化からなる高僧的なアートよりも、カリプソのシン
158: ガーに価値を置くべしと、ディランもある程度は考えているのかもし
159: れません。しかし、ディランにとってエリオットは天才で、「荒地」
160: はディランの作品に入り込み続けています。彼がエリオットを熟知し
161: ているのは明らかです。私はミュージシャンでも音楽研究家でもない
162: ので、歌詞についてしか語れません。ディランが歌詞をどう歌ってい
163: るのかということに関連しながら、歌詞について語ろうとしているの
164: です。歌というものは、何よりもまず、句読法のシステムだからです。
165: 詩と散文の違いは、それらが異なる句読法のシステムだということだ
166: と、エリオットも語っていました。私達は、パラグラフの終わる箇所
167: 以外は、行の終わりを無視することを学びます。子供が読み書きを学
168: ぶ時、ある部分はわざと無視しなければならないということ、まだ
169: 理解していないのです。散文を読めるようになるということは、行の
170: 角（かど）を丸くしていると感じることなく、そうすることが出来る
171: ようになるということです。しかし、詩にも散文にも、メリスマに相
172: 当するものはありません。ひとつの母音が音符数個分伸びるというこ
173: ともあります。（歌いながら）“Long to re-eign over us...♪”の
174: ようにね。ちょっと、ちょっと。これはイギリス国歌ですから、起立
175: するところですよ。

176:

177: ●私はイギリス人ではありません。

178:

179: ああ、そうなんですか。でも、私はアメリカ国歌の時は起立します
180: よ。私がラトヴィア国歌を歌えるようになったら、一緒に起立しても
181: らいますからね。

182: 全ての曲は、メリスマを使うか使わないかで変わってしまいます。
183: ディランはメリスマを使う時もあるれば、使わない時もあるのですが、
184: 非常に面白い使い方をしますね。例えば、「Sooner Or Later (One of
185: Us Must Know)」では、それぞれのヴァースの最後の単語もしくは
186: リフレインにはメリスマがあります。“that I never meant to do you

187: any ha-arm”という具合にです。“harm”は音符数個分に伸ばされて
188: いて、歌詞の内容とはかなり異なるフィーリングを醸し出しています。
189: ディランがそれを意識してやっているのかどうかは分かりませんが
190: ね。鍛えられたアスリートを天才と称するのと同じ意味で、ディラン
191: も天才なのだとは私に言いたいのです。アスリートには優れた本能と直
192: 感、効果的なトレーニング、自制心、そして、進んで他の人々から学
193: ぼうという姿勢が必要です。ですから、ディランがそれを故意にやっ
194: ているのだろうかという質問は全て、私には無意味に思えます。

195: 別の例を出しましょう。マーク・エイケンサイドの詩はきっとご存
196: じでしょう。神が“rais'd his plastic arm”（創造の腕を上げた）とい
197: うものです。「これはキリスト教への挑戦だ。素晴らしい」なんてバ
198: カなことを言う学生もいますが、18世紀には“plastic”という言葉が現
199: 代で言う“プラスチック”という意味ではなかったことを、私達は知
200: っています。事物を実際以上のものと想像しないために、読み方には
201: 制限を設けなければいけません。ディラン解釈の場合、私は自分が何
202: かを想像しているとは思いません。なぜ自分はそう思うのか、私は常
203: に理由を言えるようにしてあります。ハイドンの交響曲に複数の楽器
204: によるインターセクションが存在するのと同じです。ハイドンは自分
205: の中のどこかで、ここでは管楽器はこういうことをやりますと分かっ
206: ていたのですが、言葉では誰にも伝えることが出来ませんでした。
207: ディランは自分の作品に関して非常に巧妙です。脳味噌に邪魔されな
208: いように、それをプログラムしなさいと語っています。「脳味噌がプ
209: ログラムに従わないように、脳味噌をプログラムしなさい。私の歌は、
210: 歌の生き方で生きているのです」と言っています。実際にそうです。
211: ディランの歌は、時間が経った後に歌われる時には、私達が思う意味
212: と違うことを意味するようになっています。

213:

214: ●先生はディランと友達なのですか？

215:

216: 友達ですって？ めっそうもない。普段はこんなこと言わないので
217: すが、あなたになら話してもいいでしょう。5年前にこの大学でデ

218: イランはコンサートをやったのですが、私はそれには全くかかわって
219: いません。話を聞かされたのはかなり後になってからのことなので、
220: 主催者を殺してやるかと思いましたよ。コンサートの直前に、バツ
221: クステージに来なさいというメッセージを受け取っていたので、私は
222: 妻と一緒にショウ開始30分前に会場に行きました。ディランは言い
223: ました：「ミスター・リックス、やっと会えましたね」って。私はこ
224: う返事をしました：「最近、面白い本は読みましたか？」って。かけ
225: るとしたら、これがかなり良い言葉だと思ったからです。かつて、デ
226: ヴィッド・セシル卿が話してくれたのですが、昼食の席で隣同士にな
227: った人とは「今日は良い朝を過ごしましたか？」という言葉から会話
228: を始めるのがよいというのです。誰もが何らかの朝を過ごしているの
229: で、それについて語る事が出来るとうれしいからです。かつてイギ
230: リス人は、こういうふうにして世界を支配していたのですよ。ですか
231: ら、私はこう言いました。「最近、面白い本は読みましたか？」と。
232: そしたら、返って来た答えは『リチャード3世』でした。しかし、私
233: がディランに夢中なことを知っているとおぼしきイギリスの新聞は、
234: 事実を歪曲した記事を書いたのです。ジョン・サザーランドはこんな
235: ことを書きました：「ディランは部屋の向こうのほうにいるリックス
236: を見つけると、やって来て言った。『リックス教授、やっと会えまし
237: たね』と。言葉が出てこないなどということは普段はめったにないリ
238: ックスだが、この時ばかりは何を言ったらいいいのか分からず、やっと
239: のことで口から出て来たのは、何やら読書に関する事だった。」こ
240: んな調子でした。ところが、ディランは私の質問に全く驚かず、本当
241: に『リチャード3世』について話したい様子でした。何度か映画化さ
242: れているからかもしれませんが、私が「The Lonesome Death of
243: Hattie Carroll」について書いた文の中で『リチャード3世』について
244: 言及していたからかもしれません。私は「Hattie Carroll」は完璧な歌
245: だと思っています。この曲を知っていますか？

246:

247: ●殺人に関する歌ですよ？

248:

249: そうです。こういう始まりです。

250:

251: William Zanzinger killed poor Hattie Carroll

252: With a cane that he twirled around his diamond ring finger

253: At a Baltimore hotel society gath'rin'.

254: And the cops were called in and his weapon took from him

255: As they rode him in custody down to the station

256: And booked William Zanzinger for first-degree murder.

257: ウィリアム・ザンジンガーは哀れなハッティ・キャロルを殺し
258: た。

259: ダイヤの指輪をつけた指のまわりでクルクル振り回していた杖で
260: ボルチモアのとあるホテルで行なわれていた社交の集まりで
261: 警察が呼ばれ、武器は押収された。

262: 彼等はザンジンガーを護送車に乗せて署に連行し

263: 第一級殺人で起訴した。

264:

265: とても感動的な歌、物語です。それに、あなたは気がつきましたか？

266: 主要な登場人物の名前に基づいて、全てのヴァースの終わりが女性行

267: 末になっているのです。キャロルもザンジンガーも、どちらも無強勢

268: の母音で終わっているでしょう。この歌はそのリズムに基づいていて、

269: それが功を奏しています。女性行末は常に功を奏すものなのです。

270: こういう1節をご存じでしょう？

271:

272: The thought of death sits easy on the man

273: Who has been born and dies among the mountains.

274: (ウィリアム・ワーズワース)

275: 死という思いは

276: 山中で生まれ死んでいく男の上に、落ち着いて座っている

277:

278: “the hills”の上ではなく“the mountains”の中で生まれて死ぬので

279: す。この無強勢の最終母音は、死にかけている何か、または、とても

280: 勇敢に掲げられている何かのようなものです。例えば旗のようなもの
281: ですかね。旗は元気にひらひらしていることもあれば、だらりと垂れ
282: 下がっていることもあります。ディランのリフレインは全部、男性行
283: 末です。

284:

285: You who philosophize disgrace and criticize all fears

286: Take the rag away from your face.

287: Now ain't the time for your tears.

288: 全ての恐れを思索し、辱め、批判する皆さん、

289: 自分の顔から布切れを取りなさい。

290: 今は泣く時ではありません。

291:

292: この部分は素晴らしい芸術的本能を示しています。故意に行なった
293: ものではないでしょう。（新聞から）名前を2つ拝借して、それをひ
294: とつの物語にしてしまったのです。ザンジンガーがキャロルを殺した
295: 瞬間の表現も非凡です。ザンジンガーがキャロルの頭を殴った時、彼
296: には殺意はなかったのですが、キャロルの頭蓋骨が薄かったので、そ
297: れでジ・エンドでした。第1ヴァースはザンジンガーのことに終始し
298: ています。第2ヴァースはキャロルについて歌っています。

299:

300: Hattie Carroll was a maid in the kitchen,

301: she was 51-years old,

302: had given birth to ten children.

303: ハッティ・キャロルは台所で働くメイドで、

304: 51歳で、

305: 10人の子供を産んでいた。

306:

307: それからディランは彼女の仕事について歌います：

308:

309: And never sat once at the head of the table

310: And didn't even talk to the people at the table

311: Who just cleaned up all the food from the table

312: テーブルの上座に着いたことなど1度もなく、

313: テーブルに着いてる人に話しかけもせず、

314: ただ、テーブルから全ての食べ物を片付けていた。

315:

316: “table”という言葉を繰り返すことによって、これが単調な仕事である

317: ことを語っています。そして、続きはこうです：

318:

319: Got killed by a blow, lay slain by a cane

320: That sailed through the air and came down through the room,

321: Doomed and determined to destroy all the gentle.

322: 一撃で殺され、杖で殺害されて倒れていた。

323: 宙を勢いよく移動し、部屋の中で振り下ろされた杖によって。

324: 全てのやさしき者を滅ぼすよう運命づけられ、そのように決意し

325: ていた杖で。

326:

327: ディランは“through the chamber”という表現を使わず、母音を短

328: く切り上げています。彼女の命はこの瞬間に短く切られてしまったわ

329: けですが、それをメロドラマ化するのを避けたかったからでしょう。

330: そして、全てのヴァースの、ディランが語りかけている相手、つまり

331: リスナーが心を動かされて涙を流すかのような箇所には、「いえいえ、

332: 涙を流す時ではありませんよ」というリフレインがあります。

333:

334: Take the rag away from your face.

335: Now ain't the time for your tears.

336:

337: ディランはこの想像上のリスナーに向けてこう呼びかけます：「全て

338: の恐れについてよく考え、辱め、批判する皆さん」と。涙を流す時は

339: いつなのかというと、それはハッティーン・キャロルを殺した男が6カ

340: 月の懲役を言い渡される時です。この曲は評決に異議を唱えてはおら

341: ず、「刑罰と悔い改め」が6カ月だと言っているだけなのです。憤慨

342: の歌だとしたら、「信じられるか？ この国に正義はないのか？」と
343: いう具合だったでしょう。しかし、そうではなく、まるで「この俺は
344: …この俺は…」という『リチャード3世』の冒頭のような感じです。

345:

346: 笛をふいて過ごすこの頼りない平和な時代に、
347: どうしてこの俺には、時をやり過ごすための楽しみが全くないのか？

348:

349: オリヴィエが話すところでもこのように聞こえるのですが、怒りも
350: 感傷もなく淡々と不正を告発する証言を行なうことが出来る場合にの
351: み、詩人による糾弾は真実味が増すのだと思います。

352: 私がディランと会った話に戻りましょう。話題が「Hattie Carrol
353: l」になった時、彼は私に訊きました。「あの曲を気に入ってるのです
354: か？」と。私が「完璧な曲だと思います」と言うと、「今晚は演奏し
355: ませんよ」という返事が来ました。そして、私がいなかった次の晩に
356: は演奏したのです。これが事実です。あのロンドンの新聞記者がそれ
357: を歪曲して何を言おうともね。今度マスコミの連中に会ったら…。

358: でも、あなたの抱えている問題に関する限り、頭の回転が速くて感
359: 度の良い人間がそれにどう対処すべきか、私はあまり良いアドバイスを
360: を持ち合わせていません。出だしてつまづいただけということも、よ
361: くあります。私達にも起こることだし、芸術家にもあり得ることです。
362: 適当でないディケンズの小説をタイミング悪く与えられた子供のよう
363: なものです。赤毛というと学校にいたある特定のいじめっ子を連想し
364: てしまうように、ディケンズが永遠に悪い思い出と結び付いてしまう
365: ものです。ロバート・ブリッジズは数編の素晴らしい詩を書きました
366: が、私だって最初に読んだのが「Testament of Beauty」だったら、
367: 「忘れましょう」と言ったことでしょう。

368:

369: ●率直に言って、ディランの歌詞の中に先生が見出していることの多
370: くは、私にとってはそんなに目新しいことではないのです。先生の読
371: み方こそ、ディランの歌詞をフレッシュにしていると思います。まる
372: でテキストを一緒に書いたようです。

373:

374: だから、ディランだっているところから借りているのです。T・
375: S・エリオットに関して私が持っている知識は全部、ある人が私に教え
376: てくれたことです。つまり、私は全てを自分ひとりで突然発見したわ
377: けではありません。コンラッド・エイケンによるところが大きいので
378: す。ディランは恩返しの天才です。ディランのラジオ番組は本当に素
379: 晴らしいです。毎回、彼は自分が愛してやまない歌を1時間放送して
380: いるのですが、あらゆる分野の音楽を取り上げています。ビング・ク
381: ロスビーやウディー・ガスリーへの並々ならぬ敬意は、聞いているこ
382: ちらが感動してしまうほどです。自伝『Chronicles』も感謝の気持
383: ちにあふれた本です。他人の恩知らずな言動を否認すらしています。
384: 自分のアルバム『Oh Mercy』についても語っています。非常に過小
385: 評価されているレコードだからです。『Time Out of Mind』でカム
386: バックした時には、死から蘇ったラザロのようでした。心臓を患った
387: ということもあるでしょう。ディランが死に直面してビクビクしてい
388: るアルバムだと言う人もいました。しかし、ディランが言ってるのは、
389: どうして私が死ぬことなんだ？、どうして他の連中の死じゃないんだ
390: ？、皆だって死ぬじゃないか、ということです。『Oh Mercy』は『
391: Chronicles』で取り上げられている唯一のアルバムです。取り上げ
392: たのは正しいことです。禁欲的なアルバムだからです。たいてい（「
393: Most Of The Time」）「俺の唇に重なったあの娘の唇の感触なんか
394: 回想しない」なんていう具合だからです。ディランが甘受しようとし
395: ているのは精神的におかしい場所ではありません。これは、先に進む
396: 必要があることについての曲であり、近未来についての曲であり、未来
397: が想像不可能であることを歌った歌です。

398:

399: ●先生も詩を書くのですか？書いたことはあるのですか？

400:

401: ありません。昔、学校内の雑誌にキリスト教の神を攻撃した詩がひ
402: とつかふたつ載ったことはありますがね。ちなみに、私は今でも神な
403: んか信じていませんよ。

404:

405: ●神から何かされたのですか？

406:

407: 他の人にしたことが気に入らなかったのです。あれは苦痛崇拜のシ
408: ステムですよ。少なくとも、長期に渡ってそういう立派な伝統があり
409: ます。もし神の子が神自身とは違う存在だとしたら、神はサディスト
410: ですし、神が息子と同一の存在だったら、神はマゾヒストです。いつ
411: たい何をこんなに苦しまなければならないのでしょうか。何の代償を払
412: わなければならないのでしょうか。どのような罪をあがなわなければな
413: らないのでしょうか。キリスト教は罪のあがないという概念のもとから
414: 抜け出そうとしています。アフリカを除いて、罪のあがないについて
415: 語る司教などもはやいませんが、罪のあがないというのは大きなメタ
416: ファーで、説教の中では大きな象徴なのです。キリスト教が言ってる
417: ことはこうです。人間は奴隷であって、この大きな罪をあがないうこ
418: とによって解放されるだろう。ただし、他の人を犠牲にしないほうが
419: いい。道徳的にも精神的にもあまり良くないことだから。そして、キ
420: リストその人も攻撃しないほうがいい。それも良くないことだから。
421: だから、イエス・キリストは二重の存在なのです。聖母マリアも処女
422: であるのと同時に処女ではありません。女性の中にはバージンの人も
423: いるし、子供を産んだ人もいるというのが現実なのですが、処女で母
424: 親というのはいったい何なのか。それはつまり、両方の世界からのい
425: いところ取りです。非常によく練られた物語です。私は14歳半の時、
426: それに感動していくつかの詩を書きました。。

427:

428: ●先生はなぜ、ご自身では詩をお作りにならないのでしょうか？

429:

430: うまくないからですよ。

431:

432: ●うまくない理由を考えたことはありますか？先生が他の人々の詩
433: を解説するやり方は、非常に詩に近いことがよくあります。

434:

435: T・S・エリオットがミルトンの散文について語ったようなことを
436: 言う人が多いです。「優れた散文は半分詩の形になっているものだ」
437: とね。私はその意見が正しいと思う時もあるれば、そうは思わない時も
438: あります。ある種的美辞麗句や横溢、遊び心は詩のみが持つものだが、
439: 散文だってそれを持つことが可能だ、という考え方もあるのです。私
440: は詩作が得意になることはないだろうと思っていました。自分につい
441: てもいろいろ考えました。私はノーマン・メイラーにあこがれており、
442: 『死刑執行人の歌：殺人者ゲイリー・ギルモアの物語』は優れた小説
443: だと思っていますが、彼はどこかで自分はカウンターパンチャーだ
444: と書いています。つまり、彼は誰かが打ってくるのを待ってから、打
445: ち返す人間だということです。自分もしくは自分の気質、男というのは
446: こういうものだという概念がフェミニズムによって攻撃された時にな
447: って、メイラーはフェミニストを攻撃する作品を書いたのです。彼は
448: 自分自身のことをやられたらやり返すボクサーだと思っています。し
449: かも、それが素晴らしく得意です。私もそのようなものですが、はる
450: かに弱くてちっぽけなバージョンです。私は芸術作品を迎え撃ってい
451: ます。そうして芸術作品とつながっていると思いたいのです。芸術作
452: 品とは関連があるものの、それとは全くの別物です。最近のセオリー
453: は、批評家とアーティストの区別をなくすために、あらゆるものを談
454: 話にし、あらゆるものをテキストにしたがります。それに対して、私
455: は区別を維持したいと思っています。『失樂園』についての本を書く
456: としたら、それは存在論的に『失樂園』とは異なるものです。私が
457: 『失樂園』に関する本を書いても、人々の時間を無駄にしてしまうと
458: は思いませんが、私にとっては芸術作品とその解説との間には大きな
459: 溝があるのです。私には評論が必要です。新しい版が必要です。四六
460: 時中、援助を必要としています。芸術作品は人に何かを伝えるもので
461: すが、芸術作品自体も人に伝えられる必要があります。あらゆる区別
462: を取り払いたいというのが、現在のアカデミズム----このように仰々
463: しく呼ばれたらしいです----の世界の趨勢です。ハロルド・ブルー
464: ムは自分の本がダンテの本と同じくらい重要なものとして扱われるこ
465: とを欲しています。自分の本がダンテと同じくらい優れていると考え

466: る必要はありませんし、実際、殆どの場合において、彼はそんなふう
467: には考えてはいないのですが、神からそのような判断が下るだろう、
468: といういかにもアメリカ的な壮大な希望のほうに勝っている時も、た
469: まにはあるのです。

470:

471: ●私は2年前にブルームと話したことがあります。

472:

473: 楽しかったですか？

474:

475: ●ええ、とても！

476:

477: ああ、それを聞いて残念です。

478:

479: ●彼の本を読んだ時には、自己主張の塊で、ありとあらゆることをス
480: パッと述べているように感じましたが、実際に話してみると、とても
481: 楽しかったのです。すぐさま回答が返ってくるのではなく、私との会
482: 話の最中に、ちょっと考えている様子があった点も愉快でした。それ
483: は見ていてとても面白いと感じ、同時に琴線に触れました。

484:

485: とても面白いと人だと思いますが、私はすぐに返答する傾向にあり
486: ますし、そうしない人を信用しない傾向にあります。アメリカ大統領
487: を見てください。例えば、リチャード・ニクソンは例の件について
488: 100万回も質問されているので、知らないふりはしているものの、答
489: えは確かに持っているはずなのです。ハロルドも同じです。「ハロル
490: ドくん、どう思う？」という質問に100万回答え続けているのですが、
491: それでも、「えっとですねえ、フロイトまでさかのぼると…」なんて
492: いう具合なのですよ。

493:

494: ●私が彼に訊いた質問のひとつが、覚えられないものは何かあるのか
495: ということです。というのも、彼に関するあらゆる記事が、彼が異常
496: な程の記憶力の持ち主であることを強調しているからです。私はあな

497: たにも同じ質問をしたい。素晴らしい記憶力の持ち主のようですから。

498:

499: 私は数字を覚えるのは苦手です。子供たちの電話番号さえ知りませ
500: ん。数字には慣れていません。財政的なことは私に任せないほうがい
501: いでしょう。時々、恥ずかしい出来事を忘れようとしています。それに成
502: 功する時もあるのですが、たいがいは失敗します。物覚えはどんどん
503: 悪くなってきています。新たにマスター出来ることは、どんどん少な
504: くなってきています。私がオックスフォードの学生だった頃は、毎日、
505: 昼食を食べる30分間に何かを暗記していました。ブルームのように
506: 自然に覚えてしまったなどということはありません。大好きなスペン
507: サーのいくつかの詩句が出てくるのは、一生懸命覚えたからなのです。

508:

509: ●今でもそうしているのですか？

510:

511: いいえ。しなくなってからしばらく経ちます。今でも訊かれたこと
512: は思い出せますが、いつもというわけにはいきません。昨晚のディナ
513: ーの席で、私達は偉大な詩人、ジェフリー・ヒルについて語り合いま
514: した。彼は70代前半にここから引退して、イギリスに帰ってしま
515: いました。年齢は私より1つ上だと思いますよ。私は彼のことを良く知
516: っていて、彼の詩も熟知していることを誇りに思っています。妻のジ
517: ユディスがジェフリーに「第3帝国のオヴィディウス」という詩につ
518: いて質問したのですが、私はその最後でつかえてしまいました。この
519: 詩のエピグラフはオヴィディウスの「恋の歌」から引用した“non
520: peccat, quaecumque potest pecasse negare, solaque famosam
521: culpa professa facit”（罪を犯したことを否定することの出来る女
522: は罪を犯したことにはならない。過ちを告白してはじめて女は悪名高
523: くなる）です。不名誉な行為をやるのではなく、それを見つかって
524: しまうことが問題なのだ、という邪悪な考えを語っています。ナチス
525: の時代にドイツ人たちが見て見ぬ振りをしていたことがテーマです。

526:

527: 私は自分の作品と自分の子供を愛している。

528: 神は遠く、難しい存在だ。

529: 古代のかいば桶何杯分もの血の間近で、ものごとは起こっているの
530: だ。

531: 潔白など何の役にも立たない武器だ。

532:

533: そして、私はこの先を続けることが出来なくなりました。私は間もなく

534: 73歳なので、いわゆる“老齡期”を送っているはずですよ。ハイドンの交

535: 響曲の番号も、ハイドンの三重奏曲の作品番号も思い出せません。で

536: も、ベートーヴェンの5番ならOKです。これだけは大丈夫です。恐ら

537: く、「ベートーヴェンの第5」という具合にセットだからでしょう。

538: でも、私が「ハイドンのこの楽章いいですね」と言うと、人々はどの

539: 三重奏曲か知りたく思うでしょうが、私には思い出せません。私にと

540: って、音楽は番号がついた状態で耳に届くものではないのです。音楽

541: について語りたいたと思って、番号など助けにはなりません。

542:

543: ●それでは、先生は最近面白い本をお読みになりましたか？

544:

545: 70代の人間がそうであるように、私は新しい本を読むよりも、昔

546: 読んだものを読み返すことのほうが多いのです。しかも、新たに読ん

547: でいるものというものも、古い作品なのです。だから、ヘンリー・ジ

548: ェイムズの読んでいなかった作品を読んだり、読んだことのある作品

549: をもう1度読んだりしているのです。例えば、『メイジーの知ったこ

550: と』がそうですね。これは彼の最高傑作小説です。この作品には悲痛

551: な思いにさせられ、そして元気づけられます。というのも、メイジー

552: は離婚するひどい実の親に耐え、これまた酷い育ての親にも絶えて生

553: きます。ひとりはいいい人なのですが体が弱く、もうひとは酷い人間

554: で強いのです。この小説は家族に起こるであろうあらゆることを予期

555: していました。殆どの方は4人の親を持つことになり、同時に、それ

556: は親を全く持たないのと同じようなものだということです。離婚の際の

557: 金銭の問題に関しては、まさにそうでしょう。私の両親は私が3歳の

558: 時に離婚しました。それに、このような二重性もあります。子供を設

559: けたいと思うのと同時に、子供を持たないほうが賢明だとも考えます。
560: 子供を車で学校に送り届けるよりパリに行きたいなと思ったりします。
561: ジェイムズの作品には、私達が暮らしているこの世界に関して、この
562: ような警告が含まれています。これが私が最近読んだ、もしくは読み
563: 返したものです。あなたはロアルド・ダールの『マチルダはちいさな
564: 大天才』は読みましたか？

565:

566: ●いいえ。

567:

568: この本は、あなたの娘さんがもう少し大きくなったら絶対に薦めたい
569: ものです。親からの逃避がテーマです。親が子供から逃げるやり方
570: を子供は知っておく必要があります。子供はまた、自分から乳離れす
571: るやり方も知っておく必要があります。つまり、子供は必ずしも乳離
572: れさせられる必要はありません。自分から乳離れするすることが出来
573: る存在なのです。

574:

575: ●先生には従軍経験がおありだそうですね。

576:

577: ええ。2年間、スエズ運河の警備にあたっていました。国有化しよ
578: うというエジプト人の意向に反してね。たぶん彼らの意向のほうが正
579: しかったでしょう。それでエジプト人には同情を抱くようになりまし
580: た。といっても、エジプト人の知り合いはひとりしかいませんでした
581: けど。その彼も、洗濯場の配線をしている際に感電して亡くなってし
582: まいました。厳密に言うと、私はエジプトにいたというより、有刺鉄
583: 線から100ヤード離れた砂漠の中で座っていて、ピラミッドは時々チ
584: ラリと見ることは出来ず、何袋もの腐ったジャガイモの番をしてい
585: ただけなのです。

586:

587: ●先生はアメリカでお暮らしになっているのですか？ ボストン大学
588: に籍を置いていらしゃるのですか？

589:

590: 私がここにいるのは、妻ジュディスのためです。ジュディスはアメ
591: リカ人です。彼女とは30年前に出会いました。最初の妻がバカな私
592: に愛想をつかして出て行こうとしている頃のことです。（芝居じみた
593: 言い方で）あいつと、あいつが選んだ人生に、私は文句は言わんよ！
594: それで私は先に進むべき時だと思ったのです。そんな時に私はジュデ
595: イスと出会って、27年前に結婚し、11年間イギリスで暮らしたので
596: すが、結局、彼女がアメリカに帰りたいたいと言い出しました。こっちの
597: ほうがずっと仕事がしやすいと言うのです。ジュディスはグラフィッ
598: ク・デザイナー兼写真家で、イギリスよりもこっちにいるほうが仕事
599: がずっと得易いのです。私にはアメリカ人の友人がたくさんいて、中
600: には40年前からの知り合いもいます。今ここにジュディスがいたら、
601: やんわりと抗議することでしょう。私も問題を解決したかったのです。
602: 私はイギリスにはいたくなくなり、その5年後に引越をしようと決意
603: しました。ケンブリッジでの勤務は果たしてしまったのですが、その
604: 後もケンブリッジに留まるか引越をするか、決める必要がありました。
605: この大学の立派な先生でいらっしゃるジョン・シルバー学長は、
606: すぐに私を教授職に任命したかったのです。というのも、この大学で
607: 一番有名な人で、評論家でもあるヘレン・ヴェンドラーが、ハーヴァ
608: ード大でjoint appointmentを取得し、こことハーヴァードの両方で
609: 教授になっていたのですが、シルバーはそれが気に入らず、ふたりは
610: いつもケンカをしていたからです。そして遂に、シルバーはヴェンド
611: ラーにどっちかひとつにしると迫り、彼女はハーヴァードを選んだの
612: です。シルバーはある程度名前が知られていて、詩の分野をカバーで
613: きる人物を欲していたので、私は50歳になろうとしていた頃、こっ
614: ちに来たいと思いました。60歳にはなっていなかったですね。妻も
615: 50歳ではなくて40歳くらいの時でした。私はサッチャー時代にはイ
616: ギリスに留まりました。「サッチャーのネオ・ファシズムは支持しま
617: せん」と言って、カリフォルニアに行くようなことはしなかつたのです。
618: カリフォルニアにもその土地独特のネオ・ファシズムがありますね。
619: アメリカには私を寄せつけない何かがあり、どこよりも、そういう気
620: 持ちがものを言ってしまう場合があるのです。しかし、息子のデヴィ

621: ッドはこの国に来て、人々が礼儀正しく親切なことをありがたく感じ
622: ています。私はアメリカの詩が大好きです。これに関してたくさん文
623: を書きました。ローウェルやエリオットに関する論文も書いたことが
624: あります…。

625:

626: ●エリオットはアメリカの詩人だと考えているのですか？

627:

628: 私にとってはそうです。実際に、1910年のイギリスは彼にはあま
629: り価値がありませんでした。自分を作り出したものは決して乗り越え
630: ることは出来ない---乗り越えたいと思ってもいけない、と言ったの
631: は正しいですね。彼はホイットマンやポーと複雑な関係を持っていて、
632: 彼等の影響下から抜け出さなければなかったのです。しかし、彼の中
633: にはディキンソンのようなところはありませんでした。エミリー・ディキン
634: ソンにおいては、詩の作品は成長しないものなのです。いつも同じも
635: のを与えるだけなのです。素晴らしいことに、ひとつのテーマでも非
636: 常にたくさんのバリエーションが彼女にはありました。でも、時には
637: 別のテーマのものも欲しくなるものですよね。以上は既に準備してあ
638: った回答です。ハロルドはおかしくて魅力的で、あなたにグラス1杯
639: の水ではなくてウィスキー&ソーダをあげるような人物ですが、私は
640: そういう人間ではないので、がっかりしたことでしょう。

641:

642: ●そんなことはありません。それが彼のやり方というだけだと思いま
643: す。

644:

645: 確かに彼独特なやり方がありますね。しかし、私達が芸術や文学を
646: 持っている理由のひとつは、それが私達に自分とは違う思考システム
647: にアクセスさせてくれるからだ、というエマソンの意見に私は賛成な
648: のです。ここ数十年間は、芸術の中でも、人が既に考えていることを
649: 補強するようなものにしか価値を見出さない傾向があります。一方、
650: エマソンが感じていたのは、芸術において最も価値の高いこととは、
651: 知性と感受性のある人が必ずしも自分に共感してくれないさまを見さ

652: せてくれる点だ、ということでした。人がそれを学ぶことが出来るの
653: は、芸術から、もしくは非常に親しい友人からのみです。

654:

655: ●先生はThe Editorial Instituteの指導教官のひとりですが、ここが
656: 何であって、何をやっているのか、私は殆ど知りません。

657:

658: 1年で修士、3年で博士という具合に大学院の学位を授与する組織
659: です。優秀な人を受け入れて、その後、研究テーマを見つけてもら
660: のではなく、既に研究テーマを持っている人を受け入れています。学
661: 生は自分のやるべきことを分かった状態でここに来て、それに専念す
662: るだけでいいのです。ここは必ずしも英語に限らず、編集作業の大切
663: さを教える組織です。文学に片寄ってはいますけどね。博士課程でイ
664: タリアの作家を研究している女性もいます。彼女は誤って分類されて
665: いる大量のマテリアルを発見しました。私達が編纂したA・E・ハウ
666: ズマン書簡集、ロバート・フロストとエドワード・トーマスの親交を
667: 表す書簡や、互いの作品に対する評、詩をまとめた金字塔的書籍に誇
668: りを持っています。現在、私達は11巻セットのジェイムズ・フィッ
669: ツジェイムズ・スティーヴン全集に取り組んでいます。この大プロジ
670: エクトはオックスフォード大学出版局から出版される予定です。ここ
671: は学部ではなく研究所なので、私達はとても素敵な場所を使えます。
672: 私がこの部屋を使わせてもらっているのは、公表されては困る写真を
673: 私が握っているからです。以前の学長が犬にぎゅっと抱きつかれてい
674: るものがそれです。